

**3密回避どころか**

**40・39人/キツキツの教室 少人数化急げ**

**子どもたちの将来にかかわる**

日本共産党山口はるみ議員は、9月4日一般質問で碧南市での少人数学級の実現を求めます。

新型コロナウイルスにより3月2日の突然の小中学校休校以来5カ月がたちます。削減された夏休みも過ぎ2学期となりました。

この間の子どもたちへのストレス、マスク着用、3密回避など暑さの中での戦いとなつていますが、日本共産党は「子どもたちに少人数学級のプレゼントを」と運動を展開しています。

**碧南市で4校7学年が40、39人に**

碧南市では、大浜小5年、棚尾小3年4年、鷲塚小3年、新川中2年、南中3年、東中3年の4校7学年が40人39人の満杯状態です。

一般社会では、食堂も職場も2mは離れ、ソーシャルディスタンスをとっています。

公立の施設で、みんなが守るべき基準を達成できないのでは、命を守ることができません。国や県も、無視できなくなつ

碧南市小中学校クラス人数(最大)

小学校						
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
新川	32	32	31	35	35	37
大浜	27	29	30	29	<b>39</b>	31
棚尾	35	29	<b>40</b>	<b>39</b>	34	38
日進	23	31	27	29	25	26
鷲塚	28	28	<b>40</b>	30	38	33
西端	24	32	36	34	34	38
中央	29	32	30	30	31	35

中学校			
学年	1年	2年	3年
新川	32	<b>39</b>	36
南	34	37	<b>40</b>
東	35	37	<b>40</b>
西端	25	27	34
中央	30	36	32



ロケルも格なし40人のクラス

ています。当面の緊急対策も含めて実施が必要です。

**みよし市は28人以下に**

みよし市は6月から28人以下の緊急対策を実施しています。

**小学1・2年、中学1年は35人学級**

現在小学1年生は国制度、小学2年生と中学1年生は県制度で35人学級となっています。鷲塚1・2年生28名と40人クラスと比べて1クラス12名も少なくなっています。

市単独でも、みよし市のほか知立市、豊田市、西尾市なども一部実施がされています。碧南市も、独自に実施を進めながら国や県に全学年の少人数学級をと押していく必要があります。

少人数学級は「自分たちが大切にされている」と子どもが受け止め、将来1人1人を大事にする社会をつくりたい。みんな力を合わせて前進させましょう。

8月31日訪問した、東中ではエアコン活躍でした。

**立ち番強要・火災改修10億円使っても大行列・減らないゴミ**

**資源回収1億7千万円**

2019年決算で資源ごみ収集運搬委託料は1億7230万3608円。可燃ごみ収集運搬委託料1億2607万3200円より高額となっています。不法投棄ゴミ回収費、約5千万円とあわせると約2億2千万円です。

**コロナ禍も熱中症でも立ち番**

月2回2時間の立ち番は、市民の負担となっており「緊急事態宣言中」と、今の第2波が広がる中で立ち番強要に「閲覧板も感染ツールと市は伝達したのに立ち番は見えて見ぬふりか」と怒りの声があがっています。

**販売者責任求めぬ市**

便利さ優先で処理困難な商品や容器を販売する側に「処理責任」を求めるのが省資源の根本です。乾電池やバッテリー、リチウム電池が、焼却場に紛れ込み火災発生。10億円をこえる改修費となりました。しかし、他市で行っている量販店の店頭回収も実施しません。8月24日から、火災修繕が完了。再び農道まで渋滞が続く「もとのもくあみ」状態になっています。

**資源回収も激減**

新聞紙など古紙回収も報奨金を引下げ、ピーク時の半減となっています。コロナ禍で西端地区も校庭への運び込みに変わり運搬手段のない家庭は協力できなくなりま

資源回収取組状況

年度	団体数	報奨金(円)
2019	37	3,064,725
2018	41	3,397,734
2017	44	3,591,096
2016	44	3,692,216
2015	40	3,734,261
2014	41	3,796,913
2013	36	3,480,394
2012	39	6,077,867
2011	38	6,025,392
2010	32	6,068,878

25年度からの報償費12円から7円に引き下げ。ごみゼロ目標は夢か?

# 国を動かす 全国知事会・市長会・町村会が緊急提言

## 「新しい時代の学びの環境整備」

### 新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言

去る5月25日、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が全面的に解除され、学校においては概ね授業が再開されているところである。

一方、公立小・中学校の普通教室の平均面積は64㎡であり、現在の40人学級では、感染症予防のために児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難であることから、その対応が学校現場において大きな課題となっている。こうした実情を踏まえて、今後予想される感染症の再拡大時にあっても必要な教育活動を継続して、子どもたちの学びを保障するためには、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保が是非とも必要である。

また、学校の臨時休業等の緊急時においてもオンライン学習ができる環境を充実させ、新しい時代の学びを支える環境を整備することが必要である。ハード整備が先行して進む「GIGAスクール構想」において、最適な学びを実現するためには、少人数によるきめ細やかな指導体制が必要であり、学習用ソフトウェアを含む端末・ネットワーク環境の改善及びそれらを有効活用するためのICT教育人材の配置の充実が必要である。

こうしたことから、国におかれては、

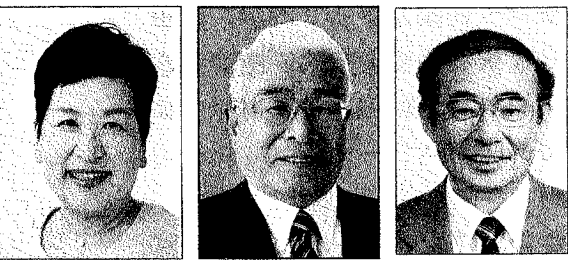
- (1) 少人数編制を可能とする教員の確保
- (2) GIGAスクールサポーター等のICT教育人材の配置充実
- (3) 更新費用やランニングコスト等も含めたICT環境整備に必要な財政措置の拡充など、学校教育環境の整備を早急に図ることを強く要望する。

令和2年7月2日  
 全国知事会会長 飯泉 嘉門  
 全国市長会会長 立谷 秀清  
 全国町村会会長 荒木 泰臣



子どもたちに仲間との共同の学びと豊かな学校生活を保障するため、必要な措置を十分にとってください。

### 日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長  
 山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
 ☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718  
 三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

戦争法廃止・安倍改憲発議許すな  
 9月19日(土) 5周年  
 午前11時～12時  
 ヤマナカ前にて

### 10万人の教師を。予算はある

10万人教員増にかかる予算は数千億円です。これは、第2次補正予算に盛り込まれた予備費10兆円の数%にすぎません。この措置を来年度以降恒常化しても、先進国で最低の日本の教育予算の水準(教育公財政支出の対GDP比)は2.9%から3.0%強となるだけで、経済協力開発機構(OECD)加盟国平均の4.0%にまだまだ及びません。

### みよし市は上限28人でコロナ対応

みよし市は昨年度、全小中12校の全年で35人学級を達成。さらに、今年6月密を避けるため小学校の上限を28人程度に減らしました。上限数は、文

部科学省が示した新しい生活様式を参考に、現実的に取り得る1.5m四方の間隔で児童のスペースを計算しました。

### 署名の呼びかけ

署名はオンライン署名サイト「Change.org」の「コロナの危険の中で学ぶ子どもたちに、少人数学級と豊かな学校生活を保障してください」でできます。

呼びかけ人は、内田良、小国喜弘、佐久間亜紀、佐藤学、清水睦美、鈴木大裕、中村雅子、前川喜平、山本由美の各氏です。

「コロナは私たちに色々なことを教えてくれた。学校がないと、こんなにも大変だということ。学校は勉強もだいじだけれど、友だちと遊んだり、話したり、食べたりの全部がだいじだったこと。先生やみんなと、あてもないこうでもないと思えるのが面白かったこと。」

「コロナで学校が休みだった時、子どもは一人で宿題をやるのはつまらなかつた。親は、やらせるのがつらかつた。先生たち

ちもとまどつた。久しぶりの学校はうれしかつた。分散登校でクラスの人数が半分になった時、先生は少しゆつたりして、子どもは授業がいっつもよりわかる気がした。

「コロナの時代に、子どもを大切にすることを学校が子どもたちに私たちが次の2つのことを求めます。」

1. 安心・安全な少人数学級をすみやかに実施してください  
 40人学級では子どもの感染を防ぐための身体的距離もとれません。これから必要となる子どもたちのケアや、学習の遅れへの対応も、40人学級ではおぼつかしいと思います。分散登校中の少人数授業で、一人ひとりの顔がよく見えることや、授業がよくわかることを、先生も子どもも実感しました。全国知事会会長・全国市長会会長・全国町村会会長も少人数学級の実施を求めています。早急に30人学級、その後すみやかに20人程度の学級への移行を実現してください。
2. 授業を詰め込みすぎず、仲間との学びと豊かな学校生活を保障してください  
 文部科学省は、授業の遅れは2～3年かけて取り戻せばいい、心のケアを大切にするという方針を示しました。